

第9次鳥取市総合計画  
市民まちづくりワークショップ  
提言書

平成22年8月

## <目次>

次代を担う人づくりグループ.....	1
自然と共生するまちづくりグループ.....	7
安全・安心のまちづくりグループ.....	11
にぎわいのあるまちづくりグループ.....	15
効率的で質の高い市政の推進グループ.....	17

## 第9次鳥取市総合計画への提言書

市民まちづくりワークショップ 「次代を担う人づくり」グループ

### 1 メンバー名簿 (◎グループリーダー、○サブリーダー)

◎山下多恵子、○二宮亜矢子、

大西保江、北尾雄一、小谷みつ美、小塚郁子、斎藤 啓、南部 敏、森田純一

### 2 会議等開催実績

#### (1) 第1回会議

○日時：平成22年7月 1日 (木) 午後3時～午後5時

○会場：市役所本庁舎6会全員協議会室

○内容：「子育て」について、自由に意見交換しました。

#### (2) 第2回会議

○日時：平成22年7月22日 (木) 午後3時30～午後5時30分

○会場：市役所本庁舎4階第3会議室

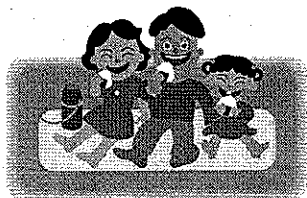
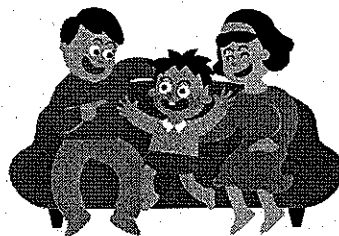
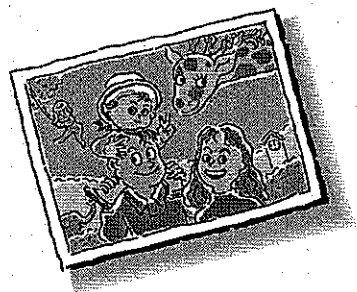
○内容：「子育て環境づくり」における「行政」の役割について意見交換しました。

#### (3) 第3回会議

○日時：平成22年8月3日 (火) 午後3時～午後4時30分

○会場：市役所本庁舎6階第1会議室

○内容：「子育て環境づくり」における「市民等」の役割について意見交換 (まとめ) をしました。



### 3 提言内容

#### <テーマ>子育て環境づくりについて

##### (1) 現状と課題

現状	課題
少子化、核家族化の進行	みんなで助け合い、外から来た人にも子育てしやすい環境づくりが必要。
地域コミュニケーションがとりにくい環境	学童保育は人とのつながり、仲間づくりができる場。市は施設整備をし、市民がサービスの質を高める必要がある。
子育てサークルがない地域がある	子育てサークルの充実。
子どもの接し方がわからない親の増加	学校、保護者が子どもを通じて連携するしくみ、親の子育てフォロー体制づくり。
子どもと親の集まれる（遊ぶ）場所の不足	身近に子どもが遊べる公園（広場）の整備
保育サービスの時間が短い。経費の負担が大きい。	利用しやすい保育サービスの充実
男性が育児参加できない環境（イクメンの不足）	男性が育児参加しやすい環境づくりには企業の協力が必要。行政のしかけづくりが必要。
子どもがいると就職できない。働きながら子育てすることは難しい。	子育て中の雇用しやすい環境整備

##### (2) 市民等と行政の役割

分野	市民等の役割	行政（市）の役割
①安心して出産、子育てができる医療体制	○各種検診を受診する。	○住み慣れた地域で、安心して子育てできる市立病院をはじめとする医療体制の充実整備と医療費を助成する。
②学童保育	○事業を継続、サービスの維持、向上に努める。 ○学校、保護者が子どもを通じて連携する。	○サービスの質や安全性の高い施設を整備する。

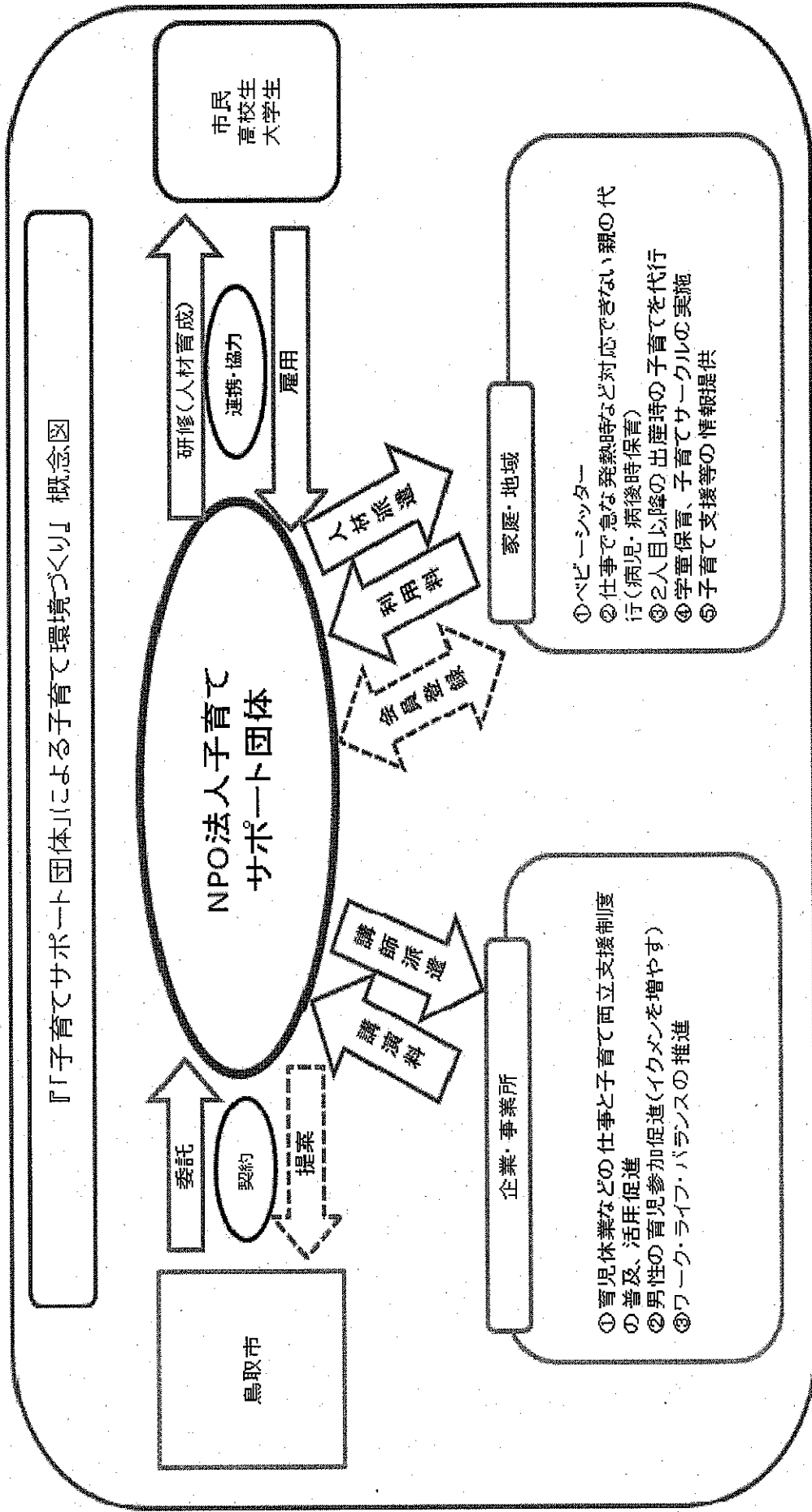
分野	市民等の役割	行政（市）の役割
③親子・家族で遊ぶ、集まれる場所	<p>○市内全地区で子育てサークルを立ち上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を越えた子育てサークルの連携</li> <li>・お互いに声をかけあい、ママ友を増やす</li> </ul> <p>○子育てサークル、イベントなどに積極的に参加し、異年齢集団と遊ぶ機会をつくる。</p> <p>○子どもを巻き込んだ自治会活動を推進する。</p> <p>○まちづくり協議会が子育て支援活動をする。</p> <p>○地域外から来た人でも子育てしやすい環境をつくる。</p>	<p>○地区公民館を子育てサークルの場として活用する。</p> <p>○子育てサークルの立ち上げを支援する。</p> <p>○親子・家族で遊ぶ場所を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園（広場）の整備（砂場があるもの）</li> </ul>
④子育て支援サービスの情報発信	<p>○子育てを支えることの必要性を理解する。</p>	<p>○子育てサークルに子育て情報の提供を促進し、共有化を推進する。</p> <p>○病後時保育など子育て支援サービスの効率的なPRを図る。</p> <p>○イベント情報を一元的に発信（官民間問わず）する。</p> <p>○「とっとり子育てねっと」の機能を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する意見交換、質問、つぶやきができる機能</li> <li>・子育て支援施設ごとの情報提供</li> </ul>

分野	市民等の役割	行政（市）の役割
⑤多様な子育て支援サービス	○子育て世代への割引特典のある協賛店となる。	<p>○幼・保も一体化や認定こども園などを進める。</p> <p>○幼・保・小・中の連携を推進する。</p> <p>○空き教室を利用し、幼・保・小・中の子どもの交流の場をつくる。</p> <p>○利用時間、経費面で利用しやすい保育サービスを提供する。</p> <p>○病後児保育の情報提供や手続きの簡略化を図る。</p> <p>○子育て相談代表ダイヤルの設置（相談窓口の一元化）</p> <p>○子育て中の再就職支援するサービスを提供する。</p>
⑥学校教育	<p>○子育てを支えることの必要性を理解する。</p> <p>○地域の子育て相談体制</p> <p>○声かけ</p>	<p>○小中一貫校を促進する。</p> <p>○地域を学ぶ、その地域ならではの教育を実施する。</p> <p>○文化芸術を身近に親しめるようにする。</p> <p>○教育機会の均等を図る。</p> <p>○個々を認める教育を図る。</p> <p>○空き教室を利用して、子どもたちが子育てについて体験できる教育を実施する。</p>

分野	市民等の役割	行政（市）の役割
⑦子育てと仕事の両立支援	<p>○子育てのための有給休暇を取得しやすい職場をつくる。</p> <p>○ワークライフバランス（仕事と家庭の調和）を推進する。</p> <p>○子育てを応援する企業となる。</p>	<p>○有給休暇、育児休業などの取得は、公的な職場は良いが、中小企業は難しい。行政から企業への指導や補助を実施する。</p>
⑧男性の育児参加促進	<p>○イクメンを増やすよう努める。</p> <p>○男性の育休取得の取得しやすい職場環境づくり</p> <p>○子育てを応援する企業となる。</p>	<p>○雇用環境が充実するようばしかけづくり、企業サポートをする。</p>
⑨子育て中の再就職支援	<p>○スキルアップを図る。</p> <p>○子育てを応援する企業となる。</p>	<p>○各支所などに再就職支援を相談（専門員）の配置</p> <p>○出前ハローワークを実施する。（各総合支所で実施）</p> <p>○インターネットを活用した求人情報と就職希望予約システムを導入する。 （求人情報を自宅で見ってから職安に相談に行くまでのタイムラグの解消）</p>
⑩その他	<p>○おもちゃ、シーズンもの、行事用品のレンタルサービス</p> <p>○親が住んでいる地域のことを好き、誇りに思う。</p> <p>○親が子育ての心構え、責任を持つ</p>	<p>○結婚の促進</p>

(3) 将来の子育て環境（支援体制）のイメージ（提案された取組みを推進する仕組み）

子育て支援の各分野に関する専門（プロ）集団である「NPO 法人子育てサポート団体」が設立され、鳥取市との契約関係のもと活動しています。核家族化に対応した子育て支援体制が整い、子育てと仕事の両立や子育て関わる雇用の創出が促進されます。





## 第9次鳥取市総合計画への提言書

### 市民まちづくりワークショップ・自然と共生するまちづくりグループ

#### 1 メンバー (◎リーダー、○サブリーダー)

◎田中豊朗

○入江真知子

出井順子、今井裕子、大谷さおり、土井倫子、博田 香、広沢京子、三木 悟、宮路幸雄

#### 2 経過

第1回 日時 平成22年7月 1日 (木) 15:00~17:00

場所 市役所本庁舎6階 全員協議会室

内容 グループで討議するテーマの抽出

第2階 平成 22年7月21日 (水) 13:30~15:30

場所 市役所本庁舎6階 全員協議会室

内容 生活環境と自然環境の2班に分かれ討議

第3階 平成 22年8月 4日 (水) 13:30~17:30

場所 市役所本庁舎4階 第2会議室

内容 グループのまとめとして討議


#### 3 意見・提案

自然と共生するまちづくりグループでは、生活環境と自然環境について討議し、それぞれ市民・事業者・行政の役割に注目した5テーマの提案をまとめました。

区分	テーマ
生活環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域で安心して暮らしていける居住環境を整備しよう (地域ビジネスや労働・雇用環境の整備)</li><li>・誰もが快適に移動できる交通体系をつくろう</li></ul>
自然環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・不法投棄やポイ捨てのない美しいまちをつくろう</li><li>・ごみの問題を把握して、自然にやさしい循環型社会をつくろう</li><li>・荒廃したイメージの耕作放棄地を生まない仕組みをつくろう</li></ul>

## (1) 生活環境

①テーマ：地域で安心して暮らしていける居住環境を整備しよう（地域ビジネスや労働・雇用環境の整備）

区分	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致に頼らないで、地域の仕事は地域でつくる市民意識の形成</li> </ul> 
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズに応じたサービスを提供する起業</li> <li>・買い物サービスや地域交流の場の提供（移動販売車、独居老人宅への安否確認など）</li> <li>・成功事例・成功地域への視察または体験交流を通じた学びを地域で活かした事業の展開</li> <li>・農業体験、民泊によるグリーンツーリズムの展開</li> <li>・事業を起こしたい人へのサポート（ノウハウ、ネットワーク構築による情報の共有）</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市住民の農山村に対するニーズの情報収集</li> <li>・地域で起業する、起業したいと望む者に対する補助、人的支援、低利融資</li> <li>・地域内外への地域情報、イベント情報の発信</li> </ul>

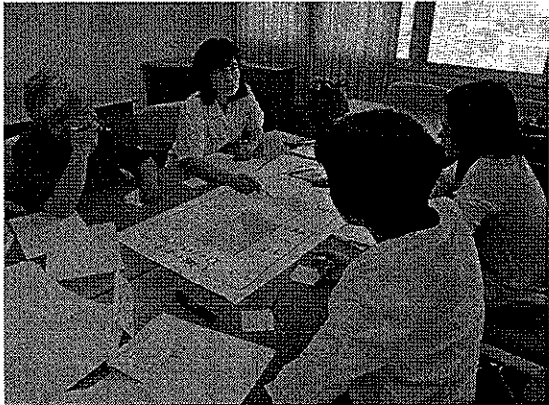
②テーマ：誰もが快適に移動できる交通体系をつくろう

区分	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、交通事業者に頼らない地域が主体となって運営する交通事業の整備</li> <li>・住民がバス路線を利用するなど、おらがまちのバスを守る意識の醸成と実践</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政からの支援が適正に活用された事業運営に向け、行政へのプレゼンテーションの実施による企業努力の検証</li> <li>・だれにもわかりやすい路線図、料金表の作成</li> <li>・従来の枠に捉われない新しい路線の開発</li> <li>・利用実態に応じた新たなシステムづくり（予約制によるルート別の運行、時間帯によるバスの規模の変更、乗り合わせマイクロで曜日毎に運行など）</li> <li>・行政の補助を生かし、集落やNPOが母体となり経営する路線便利便会社の立ち上げ</li> </ul>

行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者への評価制度の導入</li> <li>・地域の交通に関して市民からの意見を吸い上げる体制の継続</li> <li>・公共交通機関利用のための啓発・宣伝の継続（例：バスネットの活用など）</li> <li>・地域交通を支えるバス路線の維持に必要な事業者への補助金額のオープン化など、バス路線の維持に必要な行政施策などの学習と啓発</li> </ul>
----	---

## (2) 自然環境

### ①テーマ：不法投棄やごみのポイ捨てのない美しいまちをつくろう

区分	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄やポイ捨ての現状とその影響の学習</li> <li>・環境に関する学習の推進（ごみ処理場等の見学、ごみの分別方法）</li> <li>・住民自らによる地域の清掃活動の実施</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デポジット制度による販売の協力</li> <li>・消費者の立場に立った分別しやすい包装や製品の製造への理解と協力</li> </ul> 
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デポジット制度の条例化（電化製品、ビン、カン、ペットボトルなど）</li> <li>・不法投棄の監視の強化</li> <li>・車からのタバコやごみのポイ捨てに対する車の免許証の減点などの罰則制度の導入</li> <li>・「鳥取市快適な生活環境の確保に関する条例」（いわゆるポイ捨て条例）の周知徹底と啓発</li> </ul>

### ②テーマ：ごみの問題を把握して、自然にやさしい循環型社会をつくろう

区分	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3R（リデュース（減らす）・リユース（繰り返し使う）・リサイクル（資源として再利用する））による資源循環の重要性と、リフューズ（断る）を加えた4Rの理解</li> <li>・フリーマーケットの活用</li> <li>・環境に関する学習の推進</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再利用、リサイクルの出来る物づくりの推進</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生分解性の高い素材を用いた物づくり</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・循環型社会システムの市民への啓発</li> <li>・回収処理システムの構築による衣料品の焼却処分から資源循環への転換</li> <li>・リサイクル活動に対する支援</li> <li>・ごみ収集方法の見直し（大型ごみの休日対応）</li> </ul>

③テーマ：荒廃したイメージの耕作放棄地を生まない仕組みをつくろう

区分	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地がもたらす影響についての学習</li> <li>・集落による農地の管理</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の農業への参入</li> </ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の農業ニーズを活かし、耕作放棄地を市民農園として貸し出せる仕組みの検討</li> <li>・利用しやすい市民農園の利用形態の検討（3年程度までの契約延長など）</li> <li>・耕作放棄地の生態系への影響の調査</li> <li>・集落営農や企業的経営体等の多様な担い手の育成と支援</li> </ul>

## 第9次鳥取市総合計画への提言書

市民まちづくりワークショップ 「安全・安心のまちづくり」グループ

### 1 メンバー名簿 (◎グループリーダー、○サブリーダー)

◎谷口 武章、○山本 恵子、  
奥谷 仁美、小森 智恵美、武田 恭明、田村 勲、  
野澤 実、山田 節子、山根 美砂、山本 哲也

### 2 会議等開催実績

#### (1) 第1回会議

- 日時：平成22年7月 1日 (木) 午後3時～午後5時
- 会場：市役所本庁舎4階第3会議室
- 内容：「安全・安心のまち」について、自由に意見交換しました。

#### (2) 第2回会議

- 日時：平成22年7月26日 (月) 午後3時～午後5時15分
- 会場：市役所本庁舎4階第2会議室
- 内容：「安全・安心のまちづくり」を実現するための課題について意見交換しました。

#### (3) 第3回会議

- 日時：平成22年8月24日 (火) 午前9時～正午
- 会場：市役所駅南庁舎地階第5会議室
- 内容：「安全・安心のまちづくり」を実現するための「市民、事業者、行政」の役割について意見交換 (まとめ) しました。

### 3 提言内容

取組みテーマ1：

#### 「人と人とのつながりを大切に深め、紡ぎだす地域福祉ネットワーク」

目標	地域力を高めよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会の一員として、参加可能な地域活動に積極的に参加しよう。</li> <li>・地域と主体的な関わりを持つ人の増加→地域内のネットワークが自然に拡大・強化される→支援を必要とする人につながる「助けあい」のネットワークの構築・強化、という好循環をつくろう。</li> <li>・地域全体で支援を必要としている人を「発見」し、「見守り」、必要に応じて行政や医療・福祉機関に「引き継ぐ」ネットワークづくりをめざそう。</li> <li>・地域内にある様々な活動団体(自治会、まちづくり協議会、社会福祉協議会、ボランティアグループなど)の連携を深め、ネットワークを構築するとともに、各団体を結びつける地域・福祉活動の橋渡し役(コーディネーター)となろう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各世代、さまざまな立場や考え方を越えて誰もが交流できる機会や場所づくり(サロン、ふれあい広場、デイサービス)を支援し、多様な交流が促進されるよう努めよう。</li> <li>・市民と様々な活動団体、行政機関との橋渡し・調整役となる地域・福祉活動コーディネーターを育成、支援しよう。</li> </ul>
目標	福祉教育を推進し、福祉力を高めよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから大人まで年齢に関係なく市民一人ひとりが研修会やボランティア活動に積極的に参加し、「身体・知的・精神障がい」、「難病やこころの病」、「認知症」、「不登校・ひきこもり」等に関する実体験としての理解を深め、お互いの立場やおもいを認めあえる包容力と必要に応じて支援の手を差し伸べることのできる行動力を養おう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉、人権に関する研修会や学習、福祉体験などの機会を提供しよう。</li> </ul>
目標	だれもが生きがいを持ち輝けるまちにしよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だれもがそれぞれの能力を最大限に発揮し、学び、働き、社会参加できるよう、一人ひとりが思いやりをもって障がい者や高齢者の社会参加を支援しよう。</li> <li>・企業は、障がい者雇用に対する理解を深め、積極的な障がい者雇用に努めよう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者助成制度の充実や関係機関と連携した企業、市民に対する啓発活動を促進しよう。</li> </ul>

取り組み2：

「地域で支えあう安全・安心なまちづくり」

目標	災害に備え、共に助けあうことができる、災害に強いまちをつくろう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織や地域の防災活動に積極的に参加し、市民一人ひとりが防災意識を高め、災害に備えよう。</li> <li>・災害等の緊急時に必要な支援を受けられるよう、日頃から地域での付き合いを深め、最低限の情報は共有しておこう。</li> <li>・企業は、地域と災害時応援協定を締結し、災害等緊急時に避難場所や建設用重機、発電機を提供するなど、災害に強い地域づくりのための支援を行おう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織や地域防災活動の中核を担う人材育成を支援しよう。</li> <li>・災害時要援護者支援制度の普及に努め、支援体制の確立に努めよう。</li> <li>・各地域の防災設備の計画的配備、更新により、地域防災力の充実に努めよう。</li> </ul>
目標	安心して暮らせる防犯のまちづくりをすすめよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが地域において活発に交流し、自主防犯パトロールに参加する、日頃から互いに声を掛けあうなど、犯罪者を寄せ付けない地域づくりに努めよう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防犯グループの組織化や活動を支援しよう。</li> <li>・街路灯、防犯灯の整備により、夜間における安全・安心な通行を確保しよう。</li> </ul>
目標	地域マップ（防災、防犯、福祉等必要事項を掲載した地図）を作成して、共に助けあえるまちにしよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民みずからが、地域マップの作成に取組み、地域の危険箇所や避難場所、緊急時に支援が必要な住民の有無を把握し、防災意識や緊急時の共助の意識を高めよう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会やまちづくり協議会をとおして地域マップの作成を推進したり、先進事例を取りまとめて公表するなどして各地域を支援しよう。</li> </ul>

取り組み3：

「安心して暮らせる人にやさしい環境のまちづくり」

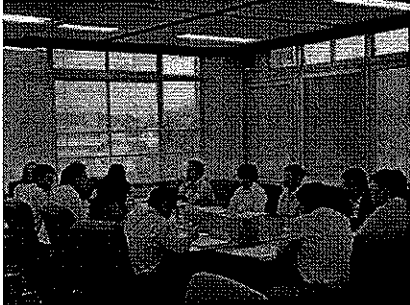
目標	だれもが安心して通行できる安全な交通環境をつくろう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが交通ルールを守ろう。</li> <li>・ハートフル駐車場※の適正利用や点字ブロック上に駐輪しないなど、地域でもお互いに声を掛けあって交通マナーの向上に努めよう。</li> <li>・地域内の道路の草木やカーブミラーの手入れやなどをして、事故が起こりにくい見通しの良い道路環境をつくろう。</li> </ul> <p>※「ハートフル駐車場」：障がい者や高齢者、妊産婦、一時的な傷病者等歩行困難な方専用の駐車場</p>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障がい者にわかりやすく自転車通行者やベビーカー利用者も通行しやすい点字ブロックの改良や注目されやすい道路標識の設置、歩道の拡張・段差解消、音声併用押しボタン信号など整備時に独自の工夫や充実を図ろう。</li> <li>・危険を伴う市道の維持管理に対する支援・指導や材料提供、草刈り機貸出し等の支援を検討しよう。</li> </ul>
目標	安全・安心な暮らしを支える地域公共交通網を整備しよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転が困難な市民の日常生活を支えたり、高齢者や障がい者の社会参加を促進するうえで、公共交通機関はとても重要です。一人ひとりが、公共交通の重要性を認識し、積極的な利用を心がけよう。</li> <li>・NPO 法人等は、過疎地有償運送の担い手として積極的に制度を支えよう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者、NPO 法人、市民等と協働し、地域公共交通網の再編成や持続可能な地域公共交通網の整備に取り組もう。</li> </ul>
目標	学校や給食センターなど子どもたちの教育環境の整備に努めよう
市民等の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが、地域活動や学校行事を通して、子どもたちが安心して学習活動に取り組める教育環境や地域環境の整備に貢献しよう。</li> </ul>
行政(市)の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設の更新時期も考慮しながら、教育環境の計画的・効率的整備に引き続き取り組み、よりよい学習環境を提供しよう。</li> <li>・安全・安心な学校給食提供のため、給食センターの環境整備や地産地消型学校給食による食育推進に努めよう。</li> </ul>



# 第9次総合計画への提言書

市民まちづくりワークショップ 「にぎわいのあるまちづくり」グループ

## 1 メンバー名簿 (◎グループリーダー、○サブリーダー)



- ◎河毛 寛 ○濱田 香
- 尾中 芳子 木下 美雪 清水 増夫
- 下澤 武志 下田 浩文 武部 仁
- 長井 和広 藤井 裕二

## 2 会議等開催実績

- 第1回会議 平成22年7月 1日(木) 午後3時から5時  
・「にぎわいのあるまちづくり」について自由に意見交換を行いました。
- 第2回会議 平成22年7月26日(月) 午後3時から5時  
・第1回の意見交換を踏まえ、テーマを設定しました。
- 第3回会議 平成22年8月 9日(月) 午後3時から5時  
・テーマについて、具体的な取り組み内容を議論し、提言をまとめました。



## 3 提言内容

テーマ：「市民が愛し、誇りにおもう鳥取の魅力づくりと発信の仕組みづくり」

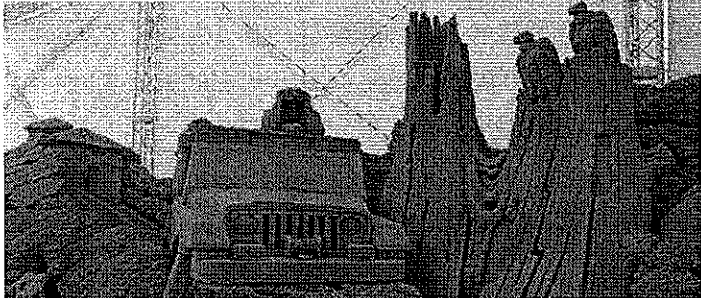
取り組み1：地域を愛し、支える人材の育成

<p>市民等の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方が先生となり、子どものうちから、鳥取の歴史・文化や観光・農業等を学ぶ機会を設ける。</li> <li>・ まちづくり協議会等の取り組みを通じて、市民が自分たちの住むまちの文化、名産、名所を掘り起こし再認識し、次の世代に伝えていくための、コミュニケーションの場づくりを進める。</li> </ul>	
<p>行政(市)の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校教育において、地域産業・観光等を教える学習を実施する。</li> <li>・ 砂像のまち鳥取の実現のため、各学校に砂像広場を設置し、誰でも砂像をつくれるよう砂像教室を開催する。</li> <li>・ 地域の伝統産業、芸能、食、農業などの担い手育成のための専門的な研修会の開催による、まちづくりリーダーの育成支援を行う。</li> <li>・ 観光大学をはじめとした、専門研修履行者に活躍の場を提供する。</li> </ul>	

## 取り組み2：市民等の活動の活性化

<p>市民等の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア組織、市民活動団体を積極的に立ち上げる。</li> <li>砂丘一斉清掃等を見習い、事業所単位での地域イベントへの積極的な参加を誘導する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のまちづくりイベント、映画祭など、市民や行政を巻き込んだイベントを開催する。</li> <li>ロケ地の誘致で公を支援する、NPO 法人フィルムコミッションを設置する。</li> </ul>
<p>行政(市)の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の各種経済団体、市民団体等が有機的な連携を図り、効果的に活動できるための連携支援窓口を設置する。</li> <li>地域のにぎわいを次代に継承するため、地域が取り組む各種イベントや活動に継続的な支援を行う。</li> <li>グリーンツーリズム、観光ボランティアガイドなど、鳥取の魅力発信を担う地域活動やボランティア活動の後方支援を行う。</li> <li>新たな魅力創造のため、ロケ地誘致について、公のフィルムコミッションを設置する。</li> </ul> 

## 取り組み3：効果的な情報の発信

<p>市民等の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の魅力に誇りを持ち、自信をもって内外にPRする。</li> <li>地域の魅力、誇りについて、子どもから大人まで全ての住民を巻き込み活動することで、まずは小さな集団から波及させ、共感の輪を広げていく。</li> </ul>
<p>行政(市)の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の各種団体等の取り組み事例や、市民の声に対する行政の取り組みを取りまとめ、効果的に市民にフィードバックする。</li> <li>情報の出し手、受け手を整理し、マスメディアとも連携しながら、内外へ効果的に情報を発信する。</li> <li>空港、駅、バス停など、観光ルートや案内表示を再確認し、必要な見直しを行うことで、観光客へ配慮した情報提供を行う。</li> </ul> 

## 第9次鳥取市総合計画への提言書

### 市民まちづくりワークショップ 「効率的で質の高い市政の推進」グループ

#### 1 メンバー名簿 (◎グループリーダー、○サブリーダー)

◎福井正樹、○渡部直樹

太田 縁、景下明美、近藤 保、竹内房男、長谷川大之、松本久美恵、  
森原 真、山本大順

#### 2 会議等開催実績

##### (1) 第1回会議

○日時：平成22年7月1日(木) 午後3時～午後5時

○会場：市役所本庁舎6階第1会議室

○内容：グループで討議するテーマの抽出

##### (2) 第2回会議

○日時：平成22年7月29日(木) 午後3時～午後5時

○会場：鳥取市役所本庁舎4階第3会議室

○内容：効率的で質の高い市政の推進について

##### (3) 第3回会議

○日時：平成22年8月9日(月) 午後1時～午後3時

○会場：鳥取市役所本庁舎4階第3会議室

○内容：グループ提言まとめ

##### (4) 第4回会議

○日時：平成22年8月17日(火) 午後1時～午後3時

○会場：市役所本庁舎6階第1会議室

○内容：グループ提言まとめ

##### (5) 第5回会議

○日時：平成22年8月23日(月) 午後1時～午後2時30分

○会場：鳥取市役所本庁舎4階第3会議室

○内容：グループ提言まとめ

(※第4回以降はメンバーの希望により開催)

【柱1】テーマコミュニティ

【課題】

- ・市民の意識改革  
～誰が啓蒙する?～
- ・市民意識の向上
- ・行政事業の市民への展開
- ・市民力の活力
- ・NPO等市民団体の活用  
(新しい公共)
- ・地域主権
- ・官主導型 民主導型
- ・市民団体活用

【提案】

- 1 NPO、市民活動団体、ボランティアの専門性・頭脳を活かすしくみづくり
  - ・自治会、市等の業務において専門的頭脳を活かす
- 2 NPOや市民活動団体同士、NPOや市民活動団体と地域の連携を強化するためのしくみづくり
  - ・人的交流、インターンシップ
- 3 NPOや市民活動団体のリーダーを育成する制度づくり

【柱2】地域コミュニティ

【提案】

- 1 まちづくり協議会の組織のブラッシュアップ
  - ・まち協と自治会の組織の違い・役割を明確にし、それぞれのあり方の周知
  - ・まち協の役割に合った事業展開を誘導する制度づくり(補助金等)
- 2 まちづくり計画の内容のブラッシュアップ
  - ・まち協の中長期的なまちづくりビジョン策定力の向上支援
  - ・まち協独自のテーマを持った計画作成
- 3 まち協リーダーの養成

【課題】

- ・地域と風穴
- ・魅力あるまちづくり
- ・市民が誇りを持てるようにする
- ・老後に30代、20代にお金が残っているか
- ・協働のための情報の把握
- ・市民参画⇒協働へ
- ・組織人と個人
- ・市の求めるものは?
- ・地域の住民の自立力をどう高めるか(地域づくりのやり方不足)
- ・協働のまちづくりの変化
- ・コラボレーションと言うけれど?
- ・地域力の高揚
- ・まちづくりの形はできた  
⇒次にどうする?

【柱5】人材育成

【課題】

- ・行政の役割、市民の役割
- ・リーダー育成の場が必要
- ・地域力・人材の活用
- ・市の一体感
- ・若者が帰って来たいと思うようなまちづくり
- ・地域ブランド
- ・専門性の高い審議会の設置
- ・市民の声を届けるためには?
- ・市民が市政に関心を持つには?

【提案】

- 1 リーダー育成のしくみづくり
- 2 行政職員としての資質の向上(自治会参加、ニーズ把握)
- 3 地域づくりとは自分づくり(潜在能力を引き出す、活かす場をつくる)
- 4 市民がまちづくりに参加するしくみづくり(自助・共助)

【柱3】財政改革

【課題】

- ・税収の動き
- ・交付金の動き
- ・市債の状況
- ・収入の拡大
- ・アウトソースできる部分があるはず
- ・鳥取市のネットショップって売れてるの?
- ・コンビニとの提携(住民票など)
- ・バランスの取れた収入・支出  
(予想外の支出)

【提案】

- 1 政策におけるPDCAサイクルの徹底によるコストダウン
  - ・事業作成時や事業実績確認時に市民の専門性を活用した事業の有効性の向上と実績チェックの強化
  - ・重要な施策立案時には市民政策コメントを実施
  - ・政策によっては止める勇気と新たな有効政策づくりを行う
- 2 アウトソーシングの積極的導入
  - ・NPO、民間企業等への業務委託の推進

【柱4】行政改革

【提案】

- 1 事業の目的を明確にした成果重視の行政経営
- 2 PDCAサイクルのチェックのしくみの強化  
チェックするにあたって、成果に対する原因の分析が重要
- 3 行政職員としての資質の向上  
(予算と成果に関するコスト意識、住民との連携、企画マネジメント力の向上)
- 4 全職員による事業見直しとカイゼン提案による高品質型行政を行う。(ひとり1改善)

【課題】

- ・職員のコスト意識を高める
- ・達成度の評価、受ける側の満足度
- ・企画マネジメント力の強化  
(他部署とどう連携していくのか)
- ・実行する力、チーム力、住民との連携力を高める
- ・業務の進行と情報公開  
(予算執行状況他)
- ・議員が多いのか適切なのか
- ・議会の提言力、チェック力の向上